

# カイゼン報告用紙

課等名	財政課	受 理 番 号	27-K010
-----	-----	---------	---------

標 題	縦割りにとらわれない国庫補助事業の活用
1 これまでのやり方(問題点)……何がどのように問題であったか具体的に	<p>防災課では、災害時に避難所となる小・中学校に防災備蓄倉庫を整備するに当たり、国庫補助事業とならないか検討したが、防災関連の国庫補助事業には、活用できるメニューが無かった。</p>
2 取組経過……改善実施までの取組内容、苦勞した点、費やした時間等について具体的に	<p>相談を受けた財政課では、防災備蓄倉庫を整備しようとする小・中学校用地が学校施設であることに着目し、文部科学省が所管する「学校施設環境改善交付金(交付率1/3)」が活用できるのではと考え、防災課及び教育総務課に検討を依頼した。</p>
3 改善後のやり方……改善後の方法について具体的に	<p>「学校施設環境改善交付金」が活用できることが分かったので、平成25年3月定例会に補正予算を提案した。 繰越明許措置をしたうえで、26年度に予算執行し、小学校に5棟(本町、鶴巻、上、南が丘、大根)、中学校に2棟(南、鶴巻)の計7棟の防災備蓄倉庫を整備することができた。</p>
4 改善の効果……効果について数量等を具体的に	
効果額 (算定根拠)	<p>小学校と中学校を合わせた事業費の決算額は54,225,720円で、充当した学校施設環境改善交付金は18,252,000円。事業費の33.7%を財源確保することができた。 (内訳)小36,826,920円(充当12,395,000円)+中17,398,800円(充当5,857,000円) さらに、国庫補助事業の地方負担額が「がんばる地域交付金」の算定根拠となったことから、防災備蓄倉庫の整備に対する学校施設環境改善交付金の地方負担額(補助対象事業費61,000千円-交付金20,333千円=地方負担額40,667千円)に対して、交付率(本市では3.9%)を乗じた額(1,586千円)が交付され、野球場電光掲示板改修工事の財源として活用することができた。</p>
時間の節減 (算定根拠)	
その他の効果	<p>中野橋の架け替え事業に厚労省補助金を活用できた例もある。活用例を紹介することにより、縦割りにとらわれない柔軟な発想を促す効果が見込まれる。</p>